

こどもたちの心のケアについて
＜令和8（2026）年度第1回カウンセリングが必要な児童生徒 学校調査結果＞

1 方法

「心と体の振り返りシート」等を使ったアンケート結果や日常の児童生徒の健康観察などを通して、学校がカウンセリングを必要と判断した児童生徒の数を集計した。

2 調査期間 令和8（2026）年5月21日（木）～6月25日（木）

3 対象者 市立小中学校の全児童生徒 58,174人

4 調査結果

学校がカウンセリングを必要と判断した児童生徒数

3,069人（全体の約5.28%）

	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
実施日 要因	6/30	11/2	2/18	6/23	11/8	2/20	6/21	11/7	2/7
熊本地震	108	90	74	50	38	38	28	29	29
新型コロナ	115	112	131	169	108	85	31	30	19
その他	1,671	1,853	1,994	2,177	2,370	2,572	2,393	2,708	2,655
合計	1,864	2,055	1,876	2,396	2,516	2,695	2,452	2,767	2,703

	令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
実施日 要因	6/24	11/8	2/18	6/30	11/4	2/20	6/25		
熊本地震	21	18	11						
新型コロナ	9	8	5						
その他	2,814	3,175	3,138						
合計	2,844	3,201	3,154	2,857	3,015	3,036	3,069		

【学年別】

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6	小学生	中1	中2	中3	中学生
合計	196	235	269	316	292	297	1,605	433	526	505	1,464

【主な要因】複数回答可

	小学生	中学生	合計
①不登校に関する事	226	347	573
②生活習慣のこと (朝起きるのがつらい 睡眠時間が減った ゲームやインターネットの使用時間の増加など)	94	143	237
③友人との関係に関する事	354	295	649
④教職員との関係に関する事	21	15	36
⑤家庭生活のこと (⑥以外、保護者や兄弟姉妹との関係等)	289	238	527
⑥児童虐待、ヤングケアラーに関する事	26	24	50
⑦貧困に関する事	6	2	8
⑧学習、進路に関する事	87	163	250
⑨児童生徒自身のこと (発達に関する事、心身の健康に関する事)	840	802	1,642
⑩非行・不良行為・暴力行為に関する事	31	33	64
⑪性に関する事 (性的マイノリティなども含む)	10	27	37
⑫熊本地震の影響を受けた	0	0	0
⑬新型コロナウイルス感染症のこと (感染の恐れや不安など)	0	0	0
⑭その他	50	3	53